

令和2年度 日南市立日南東郷小中学校 自己評価書

4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

| | | | | | |
|--|---|--|------|---|----|
| | <p>1 学校の教育目標「豊かな心で、自ら学び考え、たくましく生きていくことができる子どもの育成」</p> <p>2 めざす子ども像「優しい子ども」「賢い子ども」「たくましい子ども」</p> <p>3 めざす学校像「明るく活気に満ち、夢と希望のある学校」「尊敬と信頼に支えられる学校」「地域に開かれ親しまれ、信頼される学校」</p> <p>4 めざす教師像「教育愛に燃え、実践する教師」「教育目標の具現化に取り組む教師」「子どもの可能性を引き出し伸ばす教師」</p> | 学校関係者評価 | | | |
| <p><学校経営ビジョン> 夢や目標実現に向け、地域と一体となり小中一貫して東郷の子どもの育成（日南教育の推進）</p> | | | | | |
| 目標 | 具体的目標 | 方策・手立て | 自己評価 | 手立てとして行ったことや感想また今後、取り組みたいこと等 | 評価 |
| 1 優しい子どもを育てる | ○道徳教育の充実 | ○道徳の時間の確保と充実を図るとともに、児童生徒の実態に即した道徳教育を展開することで他者を深く理解する態度を養う。 ○“対話的で深い学び”を目指した授業を構築し、道徳的実践力の育成を図る。 | 4 | ○「対話的で深い学び」を実現する授業を展開しながら、特別な教科となった「道徳科」の充実を図った。特に中学校においては、学級担任だけでなく全職員で計画的に授業を実施した。 ○様々な場面で児童生徒を積極的に称賛したり、友だちの良さに目を向けさせたりすることによって、その自己肯定感と他者承認感を高めてきた。 | 4 |
| | ○挨拶、気持ちよい返事、感謝の言葉の励行 | ○日常活動を工夫し機会を捉えた適切な指導を行うことにより、児童生徒に、挨拶、気持ちよい返事、感謝の言葉を伝える習慣と、整理整頓に心がけしっかりと清掃を行う力が身に付くようになる。 | 3 | ○清掃班会や清掃班長会を実施しながら縦割り班による清掃活動を実施してきたことで、児童生徒に落ち着いた雰囲気や掃除をする習慣が身に付いている。 ○ほとんどの児童生徒に気持ちよい挨拶や返事をする習慣が身に付いていて、学校内外から大変良い評価を受けている。 | |
| | ○児童会生徒会活動を通しての共生力の育成 | ○みのり集会や学校行事等で児童会生徒会の活動が活かせるようにするなど、子どもが中心となる活動を工夫することで児童生徒の共生力を育成する。 | 3 | ○コロナ対策によって大集団での活動を制限したため、本校ならではの活動「みのり集会」は実施できなかった。しかし、秋季大運動会では、各自が協力して活動し係の仕事や応援等に一生懸命に取り組む等児童生徒の共生する姿が見られた。 | |
| 2 賢い子どもを育てる | ○分かる授業の充実 | ○「授業改善のチェックポイント」を土台とした授業改善を継続し、分かる・できるまで教える授業を実践する。 ○読解力を育成することを意識した授業づくりを行う。 ○校内研修を充実させながら学習指導法の工夫・改善を図る。 | 4 | ○教育委員会の示す授業改善ポイントを全職員で共通理解しながら授業研究会を充実させた。また、職員が4つのグループに分かれて相互に授業参観をした。その後、授業についての協議会を開くことにより教師の授業力を向上させるとともに分かる授業を追求することができた。 ○初期研修に全職員が協力することによって、初任者の指導力を高めるとともに、それぞれの研修を充実させることができた。 | 4 |
| | ○学力の向上 | ○朝の活動やモジュール学習を活用し、読み、書き、計算等の基礎的学力の定着を図る。 ○評価テストの在り方を工夫する。 | 3 | ○始業前に習熟の時間を設定して基礎的学力の定着を図った。また、全児童生徒に読解力を育成するねらいから「速音読」の練習に取り組み、文章を速く正確に読み取る力を高めた。 ○授業研究に加えて、新しい評価の観点や評定についての職員研修を充実させた。中学校では、中間テストを廃止して各教科毎の単元テストを実施することで指導と評価の効率化を図り生徒の学習意欲を高めた。 | |
| | ○読書活動の推進 | ○日南市「旅する読書」活動を推進する。 ○親子読書や読み聞かせなどの取組を工夫することにより読書活動を充実させる。（小学校） ○集団読書を通して短編の良書に触れる機会を設定する。（中学校） | 3 | ○日南市の「旅する読書」活動の取組では、5年女子児童が読書100冊を達成することができ表彰を受けた。 ○コロナ対策による長期の臨時休業によって学校で図書を利用する機会やその他の読書の場が例年より減少した。また、中学生や地域の方による読み聞かせは実施できなかった。しかし、家庭での読書を推奨したり、PTAによる読み聞かせ、読み声や親子読書、たいよう号活用などを推進したりすることができた。 | |
| | ○学校と家庭の連携による学習指導の充実 | ○保護者への啓発を強化したり家庭学習の目的や実施方法について指導したりして学習指導の充実を図る。 ○児童生徒の実態に配慮し、適切な課題を提示することにより学習指導の充実を図る。 | 3 | ○コロナ対策を講じながら3密回避型の参観日や地区懇談会を実施したりして、保護者への啓発及び学校と家庭との連携強化に努めた。 ○学級通信で呼びかけたり「家庭学習の手引き」を配付したりして保護者の理解と協力を得ながら学習指導の充実を図った。 | |
| 3 たくましい子どもを育てる | ○健康安全・体育的行事の充実 | ○運動会や持久走大会などの体育的行事の充実を図る。 ○避難訓練や交通安全教室などの取組を工夫する。 ○学校保健委員会を開催し保護者の体育学習や保健学習への理解を深める。 ○体力向上プランを活用した体育学習及び保健学習の指導を実施するとともに、運動の日常化を推進し運動能力の向上を図る。 | 4 | ○コロナ感染拡大防止のため、運動会は参観制限並びに午前中開催と規模を縮小して実施した。その中で、児童生徒の活動の欲求を満たすための最大限の取組はできた。また、持久走大会も、応援の仕方について配慮しながら、予定通り実施することができた。 ○抜き打ち訓練やみやざきシェークアウトを含め4回の避難訓練を実施し、学校内での行動の仕方についてしっかりと理解させた。これを学校外に居るときの避難行動につなげられるようにしたい。交通安全教室は、全校一斉にという形態はできなかったが、7年生の自転車指導、3年生のバトカーや白バイに来ていただいた交通安全教室を行い理解を深めた。 ○学校保健委員会では、保護者や生徒に保健学習としての講話「性の多様性」を実施した。LGBTについて、分かりやすく学習し、性として向き合うことができた。 ○コロナ感染拡大防止に伴い、大きく影響を受けたのが体育学習であり、単元計画変更や運動量・活動量の減少が生じ、体力向上プランの実践ができない面もあった。 | 4 |
| | ○食育や健康教育の充実 | ○栄養職員や外部講師と連携した指導など工夫した取組を行い、性教育や命を大切にすること、食育や健康教育の充実を図る。 | 3 | ○学校では新しい生活様式に従い、手洗い・手指消毒・マスク着用の徹底と3密を避ける取組を実施した。また、例年以上に学級通信や保健便りの発行を通して保護者の協力を呼びかけ、健康な生活習慣の育成を図ってきた。 ○今年度は、栄養職員の方の都合により、学校での直接的な指導はできなかったが、望ましい食生活等について、給食便りや保健便りで啓発を行った。 ○8年生を対象に助産師を招いた「性教育」を実施し、生命誕生の神秘や男女の体の変化等について、また命の大切さ等について学ぶ機会を設定した。実際に母親と赤ちゃん4組の方に来ていただき生の声を聴くことができた。 | |
| | ○部活動への積極的参加 | ○計画的で充実した活動の工夫を行う。（中学校） | 3 | ○土日いずれかを休養日と、平日のリフレッシュデーの設定をすることで適度な部活動休養日を設け、計画的で効率的な練習ができるように各部において工夫し、管理職による確認ができた。 | |
| 4 地域との連携の充実 | ○ふるさとを知り、ふるさとを大切に育てる心の育成 ○地域の方々との交流を通して、地域を愛し、愛される子どもの育成 | 以下のような活動を充実させる。 小学校：稲作体験 さとねり体験 拡大クラブ活動 もちつき、たこ揚げ大会 ひな山まつり 中学校：キンカン収穫 小中合同：日南くろしお支援学校との交流 四季の森こども園との交流 大運動会 学習発表会 フェスタin東郷 くすのき祭り つわぶき植栽 風田浜清掃 | 3 | ○本校は充実したふるさと学習や、地域の方々に支援をいただきながら活動する体験学習が数多く計画されていたが、コロナ感染拡大防止のため、中止となる行事が多かった。可能な範囲で実施した行事において、ふるさとを大切に育てる心が育っていると確信する。 ○年度途中から地域本部事業コーディネーターの方が不在となってしまう、多少なりとも影響が見られたが、職員が主となって連携を図りながら計画した活動の実施に努めてきた。コーディネーターの方の支援が、学校と地域を繋ぐ最大有効手段となる。 | 3 |
| 学校関係者評価委員のコメント | <p>○ 本年度は年間を通して、コロナ感染症拡大防止のために最大限の対策が講じられていて、児童の健康安全に十分な配慮がされていた</p> <p>○ 地域に住む者として、児童の様子を見たり様々な活動に協力したりしてきたが、コロナ禍のなかでも大変よく工夫した活動がなされていた。</p> <p>○ 毎週月曜日に校庭のボランティア清掃活動を行いながら児童生徒の明るい姿に接することができ、元気をもらっている。</p> <p>○ コロナ禍であっても、運動会や修学旅行など児童生徒の教育上不可欠な行事を工夫しながら実施していただき、大変感謝している。</p> <p>○ コロナ対策のため遅れた授業をどうするかが課題であったが、先生方の努力で克服することができたと思う。</p> <p>○ PTA活動を計画通りに実施することはできなかったが、議案の紙面決議や新聞の発行など可能な限りの活動を行うことができた。</p> <p>○ コロナ禍でも栽培活動や交流活動を実施してきたことを十分評価すべきであり、項目4の評定は「3」でなく「4」でも良いと思った。</p> | | | | |